

令和2年新春

お地藏様の寺

# 光照寺だより

ご家庭に不要のローソク・線香がありましたら、お寺に寄付していただだけませんか。四月の地藏講速夜の万灯供養に使わせていただきます。

## 仏法の本質とは・・・～喫茶喫飯～

「茶に逢うては茶を喫し、飯に逢うては飯を喫す。」これは、大本山總持寺御開山瑩山けいざん禅師ぜんじの有名な言葉です。簡単に言えば「お茶を出されたらお茶をいただき、ご飯の時にはご飯をいただく」ということです。何の変哲もない当たり前のことですが、仏法の本質を述べているのです。

瑩山けいざん禅師ぜんじは、師匠である義介ぎかい禅師ぜんじの説法中に「平常心びやうじょうしん是道これどう」という言葉に出会い悟られました。その悟りが本物であるかどうか師匠と問答されます。

(瑩山様)「我われ会えせり (仏法というものがわかりました。)」

(義介様)「汝なんじ、如何いかにが会えすと (何がどのようにわかったのか。)」

(瑩山様)「黒漆こくしつの崑崙こんろん、夜裏やりにに走る (黒い球が真っ暗闇を走るということです。)」

(義介様)「未在みざい、更さらに言いえ (今一つ足りない、別の言葉で申してみよ。)」

(瑩山様)「茶に逢うては茶を喫し、飯に逢うては飯を喫す」

(義介様)「壘なんじ、超師ちょうしの機きあり、よろしく永平えいへいの宗旨しゅうしを興おこすべし (そなたには師を超えていく力量がある。永平寺開祖道元禅師の仏法の神髓を広めなさい。)」

こうして瑩山様に日本曹洞宗四代目禅師の印可が与えられました。

お茶を出されたのにコーヒーがよかったと思ったり、熱くて飲めないと文句を言ったりしないということです。お茶とコーヒーを比べるからそのお茶の本質的な良さや相手の心遣いが見えなくなります。また、ご飯の時に新聞を見ながら食べたりしないということです。ご飯をいただくことにのみに没頭できるかということです。

凡夫である私たちには我心わがこころ (自分勝手なわがままなこころ) があるので、これを行うにはかなりのハードルを超えなければなりません。しかし、我心を減らし喫茶喫飯を心がけていけば、少しずつながらも仏法の本質に沿った生活ができていくでしょう。

(年頭の挨拶に代えて 方丈)

## お寺のおときはおいしいよ



大きな法要では勝手方の手による精進おときが振舞われます。おいしくて評判です。ぜひ食べに来てください。

おときのある法要は、春彼岸会、春地藏講、大般若会、秋彼岸会、秋地藏講 です。

### 教区団体参拝バス旅行

5月20日～21日 (一泊二日)

<永平寺、御誕生寺参拝と三方五湖の旅>

宿泊は福井県若狭温泉、船上クルーズ朝食

教区護持会 (会長は光照寺総代) 主催です。

どうぞご参加ください。